

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年11月22日

計画の名称	安来市における下水道事業の推進														
計画の期間	平成 2 9 年度 ~ 平成 3 3 年度 (5年間)											重点配分対象の該当	○		
交付対象	安来市														
計画の目標	下水道事業の未普及地域の解消により、快適な生活環境の創出と良好な水環境の保全を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		2,000	A	2,000	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	-	H33末
1	下水道処理人口普及率を51% (H29) から53% (H33) に増加			
	行政区域内の総人口に占める下水道処理区域内人口の割合	51%	52%	53%
	下水道処理人口普及率 = （下水道処理人口） / （行政人口）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	安来市	直接	安来市	管渠（ 污水）	新設	管渠整備事業（安来処理 区）	污水管 Φ100～400mm L＝8 ,600m	安来市	■	■	■	■	■	2,000		-
											小計						2,000		
											合計						2,000		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
安来市において評価を行い確定	令和5年度
	公表の方法
	安来市のホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	管渠整備により未普及地域の解消が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
令和4年度以降も安来市社会資本総合整備計画にて、コスト縮減を図りながら当該事業を継続していく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	53%	
	最 終 実績値	55%	